

「頭脳循環」エジンバラ・ロンドン出張報告

出張者：田辺明生（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・教授）

出張期間：2012年10月15日～10月21日

出張先：エジンバラ大学、ロンドン大学スクール・オブ・オリエンタル・アンド・アフリカン・スタディーズ(SOAS)

出張報告：

10月16日の夕刻にエジンバラに到着。10月17日はエジンバラ大学を訪問し、Crispin Bates 氏 (The University of Edinburgh, UK) と研究相談・打ち合わせを行い、ダブルディグリー制度など教育研究協力の将来的な可能性について話し合った。

10月17日は、エジンバラ大学で開催された国際ワークショップ “Social Movements and the Subaltern in Postcolonial South Asia” に参加し、全体討論者としての責を果たした。Jeevan Raj Sharma (The University of Edinburgh, UK), Shahid Perwez (The University of Bath, UK) Radhika Govinda (The University of Edinburgh, UK), Hugo Gorringe (The University of Edinburgh, UK), Crispin Bates (The University of Edinburgh, UK), Aya Ikegame (Open University, UK) たちと、インドにおける社会運動をめぐって討論した。なお日本からは、三尾稔氏 (国立民族学博物館)、舟橋健太 (京都大学)、石坂晋哉 (NIHU/京都大学)、上池あつ子 (甲南大学) らが会議に参加した。

10月18日は、エジンバラ大学で南アジア研究センターで行われたセミナー “Enchantment of the Past: Nature of 'faith through things' in warrior spirit's cults of southeastern Rajasthan” に参加した。出席者たちと、セミナー後も、南アジア研究や人類学について討論を続けた。

10月19日には、ロンドンに移動し、頭脳循環プロジェクトでロンドンに派遣中の佐藤慶子さんとともにSOASの事務局に行き、佐藤さんのアソシエート学生としての受け入れについて交渉を行った。（なお後日、受け入れが認められた。）その後、佐藤さんにたいして研究指導を行った。